#### CANS2D モデルパッケージ md\_itmhdshktb

# 等温 MHD 衝擊波

2006. 2. 12.

### 1 はじめに

このモデルパッケージは、2次元平面内での等温 MHD 衝撃波問題を解くためのものである。

### 2 仮定と基礎方程式

流体は非粘性・等温流体とする。計算領域は 2 次元デカルト座標 (xy 平面) で  $\partial/\partial z=0$ 、 $V_z=0$ 、 $B_z=0$  と仮定する。解くのは、 密度  $\rho$ 、速度  $V_x$ 、 $V_y$ 、磁場  $B_x$ 、 $B_y$  についての 2 次元 MHD 方程式

$$\frac{\partial}{\partial t}(\rho) + \frac{\partial}{\partial x}(\rho V_x) + \frac{\partial}{\partial y}(\rho V_y) = 0 \tag{1}$$

$$\frac{\partial}{\partial t}(\rho V_x) + \frac{\partial}{\partial x}\left(\rho V_x^2 + p + \frac{B^2}{8\pi} - \frac{B_x^2}{4\pi}\right) + \frac{\partial}{\partial y}\left(\rho V_x V_y - \frac{B_x B_y}{4\pi}\right) = 0 \tag{2}$$

$$\frac{\partial}{\partial t}(\rho V_y) + \frac{\partial}{\partial x}\left(\rho V_x V_y - \frac{B_x B_y}{4\pi}\right) + \frac{\partial}{\partial y}\left(\rho V_y^2 + p + \frac{B^2}{8\pi} - \frac{B_y^2}{4\pi}\right) = 0 \tag{3}$$

$$\frac{\partial}{\partial t}(B_x) + \frac{\partial}{\partial y}(cE_z) = 0 \tag{4}$$

$$\frac{\partial}{\partial t}(B_y) - \frac{\partial}{\partial x}(cE_z) = 0 \tag{5}$$

$$p = \frac{k_{\rm B}}{m} \rho T \tag{6}$$

$$cE_z = -V_x B_y + V_y B_x \tag{7}$$

である。ここで、T はガスの温度で定数。

#### 3 無次元化

計算コードの中では、変数は以下のように無次元化して扱われる(表 1 参照)。長さ、速度、時間の単位はそれぞれ  $L_0$ 、 $C_{S0}$ 、 $L_0/C_{S0}$ 。ここで、 $L_0$  は計算領域の大きさ、 $C_{S0}$  は音速。密度は高圧側の値  $\rho_0$  で無次元化する。以下、無次元化した変数を使う。

変数	規格化単位
x, y	$L_0$
$V_x, V_y$	$C_{ m S0}$
t	$L_0/C_{\rm S0}$
ho	$ ho_0$
$B_x, B_y$	$\sqrt{\rho_0 C_{\mathrm{S}0}^2}$

表 1: 変数と規格化単位

## 4 パラメータ・初期条件・計算条件・境界条件

|x|<1/2、|y|<1/2 の領域を解く。初期状態は以下のようなもの。サブルーチン  ${
m model}$  で設定する。

$$\rho = \rho_0 + (\rho_1 - \rho_0) \frac{1}{2} \left[ 1 + \tanh\left(\frac{s}{w}\right) \right]$$

$$V_x = V_y = 0$$

$$B_x = B_{00} \cos \theta_i + B_{x0} + (B_{x1} - B_{x0}) \frac{1}{2} \left[ 1 + \tanh\left(\frac{s}{w}\right) \right]$$

$$B_y = B_{00} \sin \theta_i + B_{y0} + (B_{y1} - B_{y0}) \frac{1}{2} \left[ 1 + \tanh\left(\frac{s}{w}\right) \right]$$

ただし、

$$s = x \cos \theta_i + y \sin \theta_i$$

w=0.02 は数値不安定を避けるための遷移幅。

パラメータ	値	コード中での変数名	設定サブルーチン名
高圧側密度 $ ho_0$	1	ro0	model
高圧側磁場 $B_{x0}\ B_{x0}$	$-\sin\theta_i$	bx0	model
高圧側磁場 $B_{y0}\ B_{y0}$	$\cos \theta_i$	by0	model
低圧側密度 $ ho_1$	0.125	ro1	model
低圧側磁場 $B_{x1}$ $B_{x1}$	$\sin \theta_i$	bx1	model
低圧側磁場 $B_{y1}\ B_{y1}$	$-\cos\theta_i$	by1	model
初期不連続の角度 $ heta_i$	60 度	thini	model
初期不連続に垂直な磁場 $B_{00}$	0.75	ъ00	model

表 2: おもなパラメータ

境界条件は、すべて自由境界条件。サブルーチン bnd で設定する。 計算パラメータは以下の通り (表 3 参照 )。

パラメータ	値	コード中での変数名	設定サブルーチン名
グリッド数 $x$ 方向	103	ix	main
グリッド数 $y$ 方向	100	jx	main
マージン	4	margin	main
終了時刻	0.1	tend	main
出力時間間隔	0.02	dtout	main
CFL 数	0.4	safety	main
進行時刻下限値	$10^{-10}$	dtmin	main

表 3: おもな数値計算パラメータ。マージンとは、境界の値を格納するための配列の「そで」部分の幅のこと。進行時刻下限値とは、各計算ステップの  $\Delta t$  の値がこの値を下回ったときに計算を強制終了するための臨界値。